

科目名	看護の基本技術		時期		時間	単位
担当教員	看護師として5年以上の実務経験を有する専任教員		1年次	前期	30時間	1単位
科目設定理由	看護は人間の健康に焦点をあて、あらゆる成長・発達段階にある個人、家族、集団、地域・社会の中で生活している人を対象とし、その人がもつ自らの力を最大限に発揮し、最期までその人らしく生きることを支援する。また、看護技術とは、看護の対象となる人々に安全・安楽に人間的で健康な生活を送ることができるように援助することである。そこで授業を通して自己理解・他者理解を深め、良好な人間関係を形成するために必要なコミュニケーション技術を修得し、看護実践能力の基礎となる看護技術論及び看護の共通基本技術の重要性を理解するため当該科目を設定した。					
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 看護技術の構成要素及び原理原則を理解し、看護技術を実践する方法を修得する</li> <li>2 感染を予防するための看護技術を習得する</li> <li>3 良好な人間関係を形成するためのコミュニケーション技術を習得する</li> <li>4 報告の必要性と方法を理解する</li> <li>5 看護記録の意義と留意事項を理解する</li> <li>6 看護における学習支援の技術を理解する</li> </ol>					
修得する看護技術経験録	No. 57 スタンダード・プリコーション（標準予防策）に基づく手洗い No. 58 必要な防護用具（手袋、ゴーグル、ガウン等）の選択・着脱					
授 業 計 画						
回数	項目	内 容				備 考
1	看護技術	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 看護技術とは</li> <li>2 看護技術の特徴</li> <li>3 看護技術を適切に実践するための要素</li> </ol>				講義
2~5	感染防止	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 感染とその予防の基礎知識</li> <li>2 標準予防策</li> <li>3 感染経路別予防策</li> </ol>				講義・演習 No. 57 No. 58
6~10	コミュニケーション	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 コミュニケーションとは</li> <li>2 看護・医療におけるコミュニケーション</li> <li>3 コミュニケーションの構成要素と成立過程               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) コミュニケーション手段</li> <li>(2) 構成要素と成立過程</li> <li>(3) ミスコミュニケーション</li> </ol> </li> <li>4 関係構築のためのコミュニケーションの基本               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 接近的行動と非接近的行動</li> <li>(2) 効果的なコミュニケーションの実際                   <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 傾聴の技術</li> <li>(2) 情報収集の技術</li> <li>(3) 説明の技術</li> <li>(4) アサーティブネス</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>6 コミュニケーションに障害への対応               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) コミュニケーションに障害がある人の特徴</li> <li>(2) 言語的コミュニケーションに必要な身体機能</li> </ol> </li> <li>7 オンラインコミュニケーション</li> <li>8 療養環境にある患者とのコミュニケーション</li> </ol>				講義・演習  療養環境にある患者とのコミュニケーション
11	報告の必要性と方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 看護における報告の必要性</li> <li>2 報告の方法（SBAR）</li> </ol>				講義
12	看護記録	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 看護記録の法的位置づけ</li> <li>2 看護記録の規定</li> <li>3 看護記録の意義・目的と機能</li> <li>4 看護記録の構成</li> <li>5 記載・管理における留意点</li> </ol>				講義
13~14	学習支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学習支援の対象者と看護の役割</li> <li>2 学習の基礎知識</li> <li>3 学習支援の基礎知識</li> <li>4 学習支援の技術（方法と教材）</li> </ol>				講義
15	試験	まとめ				
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 基礎看護[2]基礎看護技術Ⅰ		有田 清子 他		医学書院	
	系統看護学講座 専門分野 基礎看護[3]基礎看護技術Ⅱ		有田 清子 他		医学書院	
	根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術		任 和子他		医学書院	
参考図書・資料等						
評価方法	筆記試験、課題レポート、講義の取り組み状況などを総合的に評価する					